

こりめも① どのくらいリンゴがとれるの？

昨年の収穫数は約4,500個。過去、最も多い時には約35,000個もとれたんだって！すごいね！リンゴの木は病気などに弱くて、病気や台風の影響で倒れる木もあるんだ。今、リンゴ並木には新しく植えかえられた若木が多いから、この木たちが育つと、またいっぱいとれるようになりそうだね！楽しみ～！



こりめも② とれたリンゴはどこへ行く？

地域の行事や区役所で配付したり、児童関係施設に配ったりして、豊平区民に食べてもらっている



んだって。他にも豊平区にゆかりのあるプロスポーツ球団や円山動物園へ、リンゴ贈呈式を行ってプレゼントしているんだって。去年は動物園でアジアゾウが美味しそうにリンゴを次々と食べていたよ！



こりめも③ リンゴ並木がつなぐご縁！

リンゴ並木を作った当時、全国で唯一リンゴ並木があった長野県飯田市を参考にしたらいいんだ。そしてなんとこの飯田市のリンゴ並木、実は札幌の街路樹の美しく涼しげな様子に感動した飯田東中学校の校長先生の話を引き継いで作られたんだって！！この素敵なご縁を、美園リンゴ



会のみなさんは大事にしているそうだよ。

リンゴ並木 MAP



めいたんてい

2020  
9

こりん



めーたん

の  
みりょくはっけんレポート



みりょく的なとりくみ  
リンゴ並木の見守り活動



みりょく的なひと  
美園リンゴ会 会長 稲葉郁夫さん



環状通のリンゴ 並木を見守る活動をしている「美園リンゴ会」。  
40年以上続いている会の活動について、稲葉会長にお話を聞いてきたよ!



こりんといぬたんが  
みつけたみりょくてきなひと

美園リンゴ会 会長  
いなば いくお  
稲葉 郁夫さん

### どんな活動をしているの?

会の発足以来、毎年リンゴの実が色付く頃から収穫が終わるまで、会員が交代で毎日リンゴ並木の



見回りをしています。落ちたリンゴやゴミを拾いながらリンゴ並木を見守っているんです。

他にも、春には並木沿いの歩道に花を植え、秋には美園りんごまつりを開催しています。りんごまつりではリンゴ会の文字入りリンゴも配ったりもして



いて、毎年長い行列ができるほどの人気ですよ。

地域のあちこちで  
大活躍しているんだ~!



### 子どもたちの学習のお手伝いもしているって聞いたよ?

美園小学校の4年生は、毎年リンゴを題材に地元の歴史やまちづくりのことを勉強していて、



リンゴ会ではこのお手伝いをしています。リンゴや並木について講話したり、子どもたちと一緒に文字入りリンゴをつくったりして、最後には子どもたちが調理実習で作ったリンゴのデザートをみんなで食べるパーティーに招待してもらっています。子どもたちと触れ合えるのはとても楽しいですね。

まさにみになる  
リンゴの学習だね!



### 活動のやりがいは?

無事にたくさんリンゴの実がなるとやはり嬉しいです。一番やりがいを感じる瞬間は、子どもたちの笑顔を見た時。一緒に作業をすると、みんな本当に生き生きとしています。キラキラした笑顔や真剣な表情を見ていると、毎年嬉しくなりますね。



### どのような思いで活動をしているの?

長年見守り続けていると年々愛着がわいてきて、今ではリンゴ並木は子や孫のような存在に感じています。美園や豊平区の重要なシンボルであるのはもちろん、札幌市にとっても大切な財産なので、これからも大事に長く守っていきたくです。多くの子どもたちや若い世代にリンゴ並木への愛着を感じてもらい、地域をさらに活性化していきたいですね!

長く続く活動も  
リンゴ並木への愛情も...  
みりょくてき!!



### 美園リンゴ会の誕生

昭和49(1974)年にできたリンゴ並木。翌年、みんなが初めての収穫を楽しみにしていた矢先、1週間ほどでリンゴが全部盗まれてしまったんだ!そこで地域の人たちがリンゴを守るため、昭和51(1976)年に会を結成。昼も夜も熱心に見回って、無事にたくさんのリンゴが収穫できたんだって。今もその情熱は受け継がれ、25人の会員が活動をしているよ。



札幌市公文書館所蔵